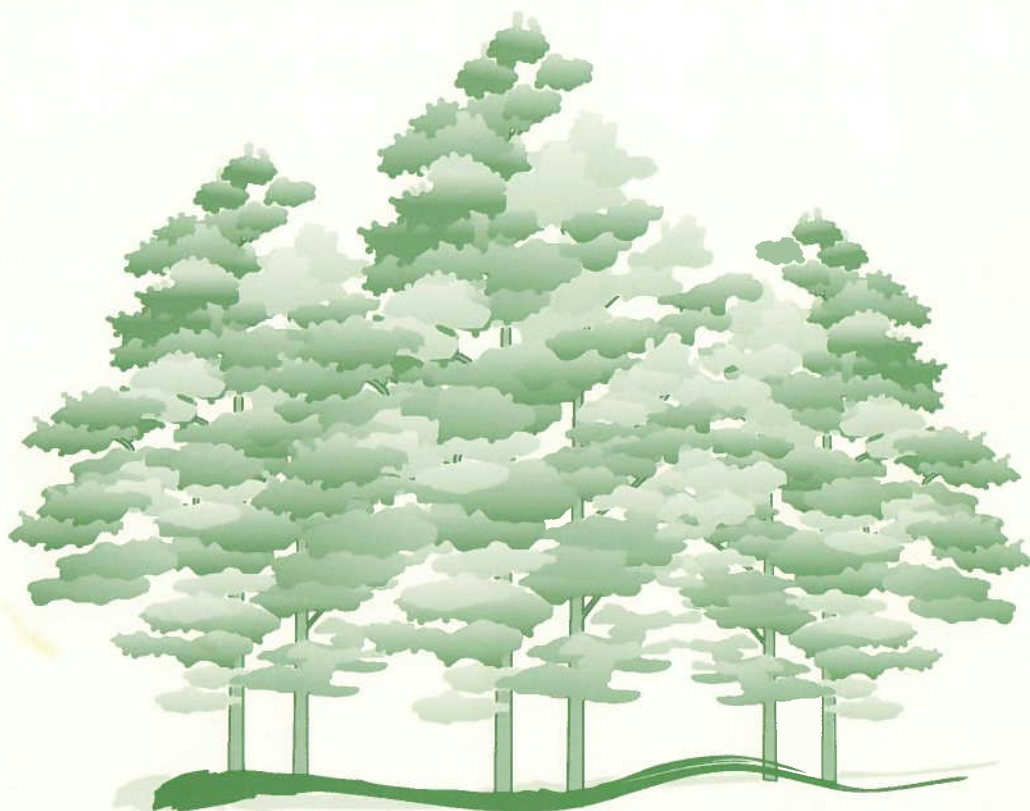


第15回

# 京都都市緑化

## 写真コンクール

### 入選作品集 (平成11年度)



- 主催：京都府都市計画協会
- 共催：京都府・京都市・(財)京都府公園公社・  
(財)京都市都市緑化協会・(社)京都府造園建設業協会
- 後援：京都府市長会・京都府町村会・京都新聞社・KBS京都・  
エフエム京都
- 協賛：京都府造園組合連合会・京都府写真材料商業組合  
(社)日本植木協会京都府支部・(社)日本造園建設業協会京都府支部  
(財)日本造園修景協会京都府支部・富士写真フィルム株式会社

緑とオープンスペースは、大気の浄化・気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関するさまざまな行事が行われました。

京都では、この「都市緑化月間」の行事のひとつとして、「街の緑と公園」、「身近な小さな緑」、「窓辺の花や緑」などを主題とした「第15回京都都市緑化写真コンクール」を行い、338点の応募作品の中から入選作品として優秀な作品45点を選びました。

主催 京都府都市計画協会  
共催 京都府・京都市  
(財)京都府公園公社  
(財)京都市都市緑化協会  
(社)京都府造園建設業協会

入賞作品一覧

京都府知事賞  
京都市長賞  
(財)京都府公園公社理事長賞  
(財)京都市都市緑化協会理事長賞  
(社)京都府造園建設業協会会長賞  
優 秀 賞  
(順不同)

佳 作

『緑下市場』  
『岡崎夕景』  
『夏の終りに』  
『ビルの中の緑』  
『新緑通り』  
『緑の館のフリーマーケット』  
『樹のある街かど』  
『空間の美緑』  
『緑の僕ん家』  
『写生をする学生達』  
『緑の河川敷ウォーク』  
『孫と一緒』  
『銀行の角の花みずき』  
『憩 い』  
『楽しく遊ぶ子供たち』  
『新緑の京都観光』  
『緑につつまれて』  
『つかまえた』  
『緑と花の回廊』  
『春の梅小路公園』  
『休 日』  
『ビルの谷間』  
『川岸の昼さがり』  
『「つた」に囲まれた館』  
『緑の広場』  
『みどりと水』  
『緑木を吸うて』  
『緑の中を行く観光小舟』  
『緑陰に憩う』  
『朝の五條堀川歩道』  
『緑のトンネル』  
『新緑の小道』  
『花も緑もお友達』  
『北山通りの街路樹』  
『窓辺の花』  
『まちなかのオアシス』  
『歩道の樹木』  
『(京の中心街)にも緑の木蔭』  
『緑 陰』  
『炎天下の遊歩道』  
『子供ひろ場遠望』  
『緑の木漏れ陽』  
『帰り道』  
『休 息』  
『櫻井さんの玄関』

長 岡 寿 美  
三 上 敏 雄  
朝 田 信一朗  
伏 木 弘 臣  
藤 谷 邦 子  
西 義 雄  
石 井 實 子  
平 木 タミ子  
長 岡 隆 男子  
今 井 芳 子  
横 道 政 一  
高 橋 好 子  
森 津 二 郎  
浜 崎 照 男  
大久保 良 雄  
畑 精 一  
中 西 昭 次  
伊津野 和 行  
嘉 納 邦 夫  
小 倉 裕 裕  
内 田 栄三郎  
今 道 秀 夫  
高 橋 時 子  
藤 田 昭 三  
太 田 盛 男  
堀 節 子  
原 幸 子  
大 石 政 雄  
小 原 正 義  
大 竹 昭 夫  
安 本 三 男  
吉 永 弘 功  
余 田 功 功  
小 畑 光 江  
小 畑 博 博  
杉 山 光 弘  
三 上 房 子  
亀 井 艶 子  
戸 田 米 一  
米 田 嘉 三  
今 西 保  
小 卷 勝  
中 川 茂  
中 野 豊  
安 藤 良 業

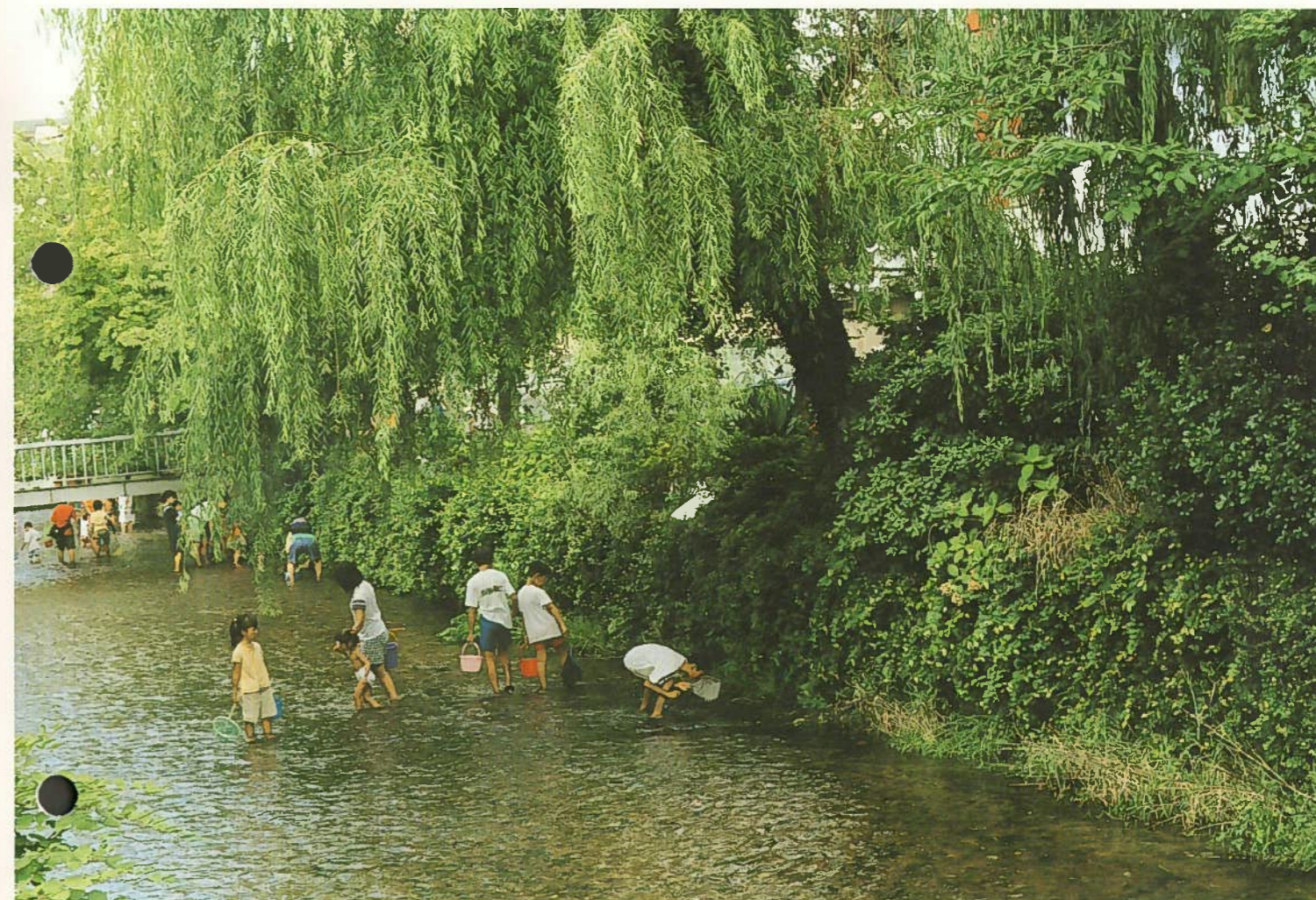


『緑下市場』  
長岡寿美  
撮影場所：壬生団地付近

京都府知事賞1点, 京都市長賞1点, (財)京都府公園公社理事長賞1点,  
(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点, (社)京都府造園建設業協会会長賞1点, 優秀賞10点, 佳作30点 合計45点



「岡崎夕景」  
三上敏雄  
撮影場所：岡崎公園



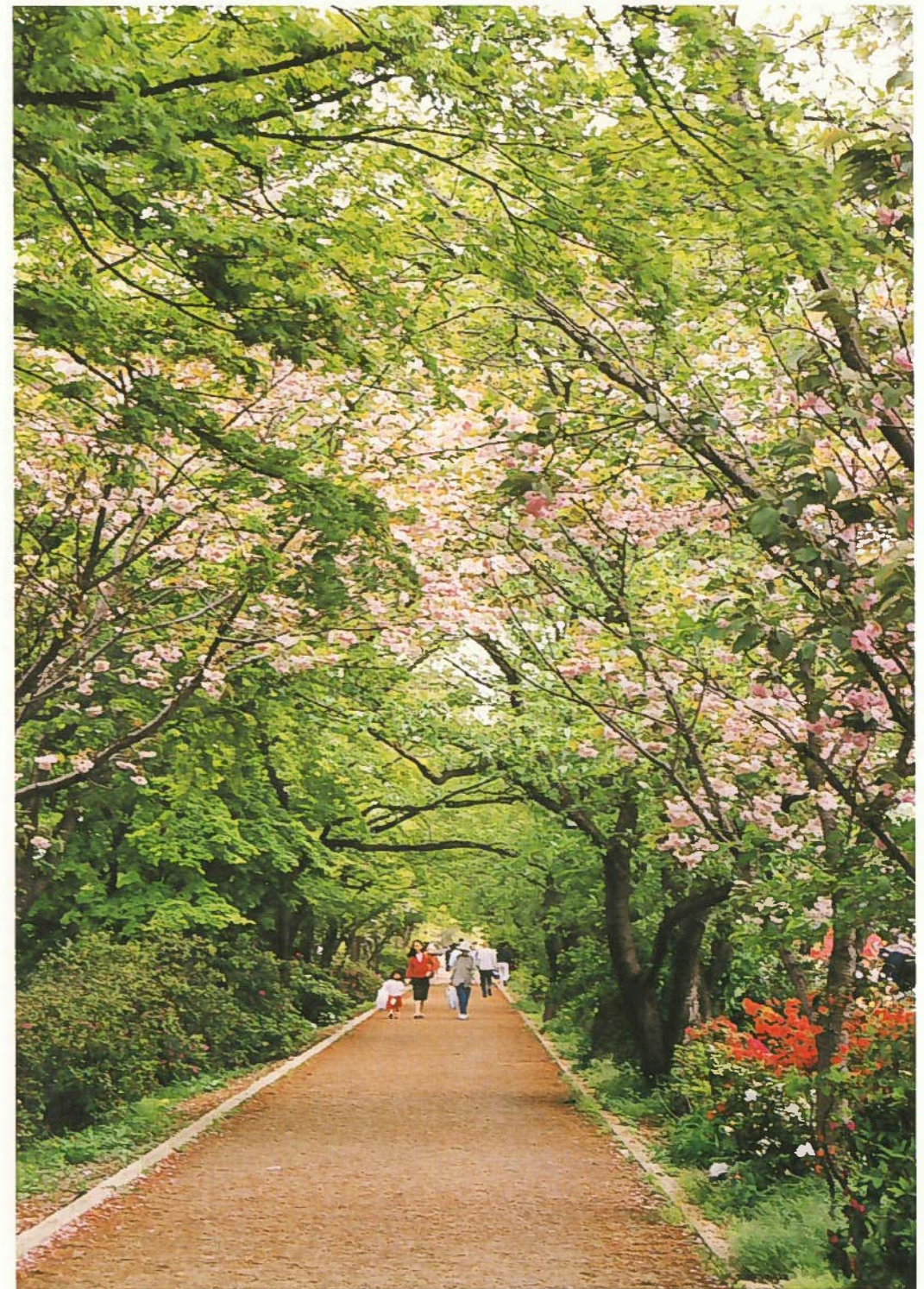
「夏の終わりに」  
朝田信一郎  
撮影場所：白川近くで



「ビルの中の緑」

伏木弘臣

撮影場所：地下鉄市役所前河原町出入口



「新緑通り」

藤谷邦子

撮影場所：長岡京市 長岡天神付近



『緑の館のフリーマーケット』西 義雄  
撮影場所：醍醐



『空間の美緑』平木タミ子  
撮影場所：アバンティ地下道



『写生をする学生達』今井芳子  
撮影場所：岡崎美術館前



『樹のある街かど』石井 實  
撮影場所：河原町御池



『緑の僕ん家』長岡隆男  
撮影場所：中京壬生団地



『緑の河川敷ウォーク』横道政一  
撮影場所：八幡市 背割堤地区



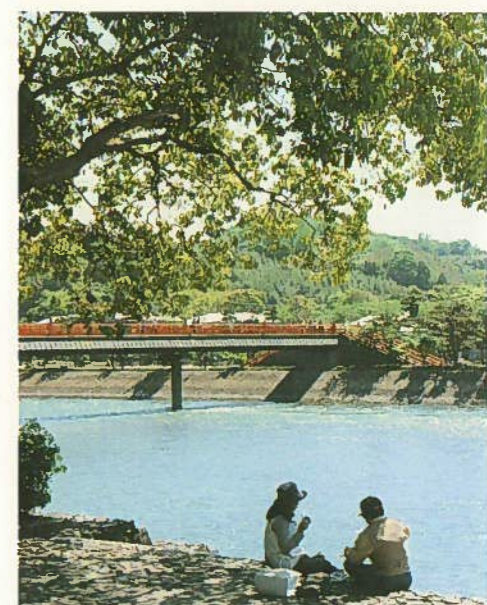
『銀行の角の花みずき』森津二郎  
撮影場所：四条烏丸



『楽しく遊ぶ子供たち』大久保良雄  
撮影場所：宝ヶ池子供の楽園



『孫と一緒に』高橋好子  
撮影場所：梅小路公園



『憩い』浜崎照男  
撮影場所：宇治公園



『新緑の京都観光』畑 精一  
撮影場所：岡崎神宮道



『緑につつまれて』中西昭次  
撮影場所：嵐山東公園



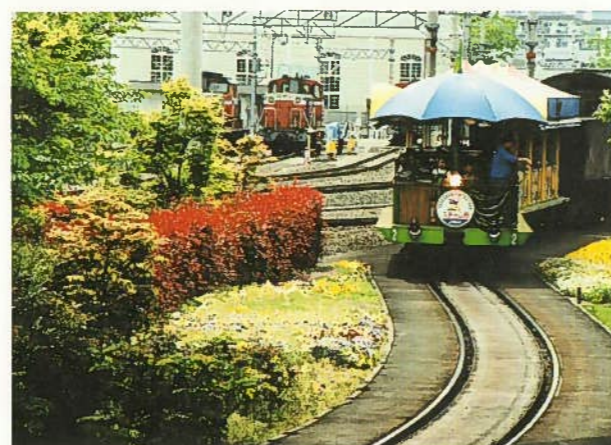
『つかまえた』伊津野 和行  
撮影場所：御所



『緑と花の回廊』嘉納邦夫  
撮影場所：鴨川花回廊



『春の梅小路公園』小倉 裕  
撮影場所：梅小路公園



『休日』内田 栄三郎



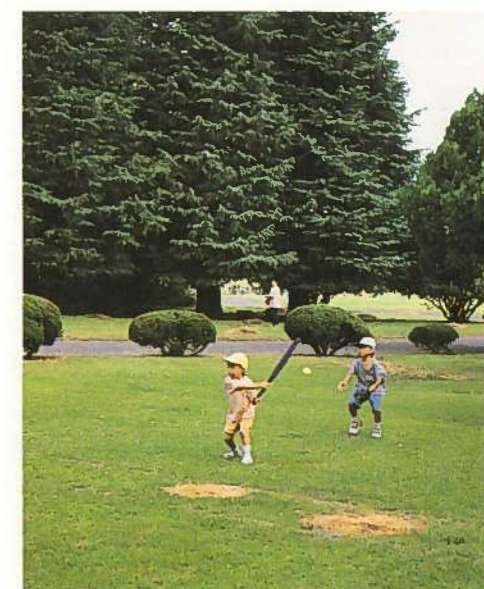
『ビルの谷間』今道秀夫  
撮影場所：鳥丸六角



『川岸の昼さがり』高橋 時子  
撮影場所：桂大橋下流



『「つた」に囲まれた館』藤田昭三  
撮影場所：山科御陵大津畑町



『緑の広場』太田盛男  
撮影場所：嵐山東公園



『みどり与水』堀 節子  
撮影場所：月桂冠の裏道



『緑木を吸うて』原 幸子  
撮影場所：智積院

佳 作



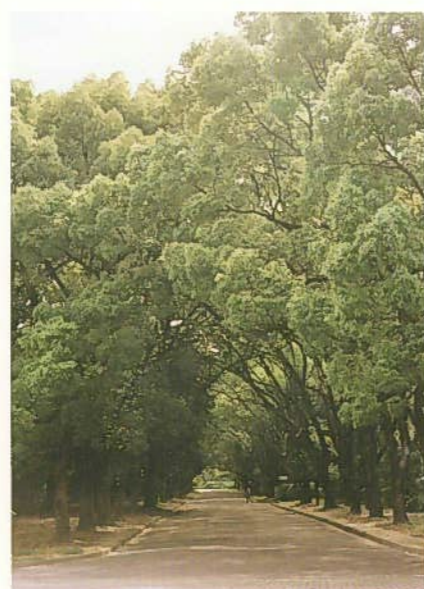
『緑の中を行く観光小舟』大石政雄  
撮影場所：中書島河畔



『緑陰に憩う』小原正義  
撮影場所：三栖公園



『朝の五條堀川歩道』大竹昭夫  
撮影場所：下京区 五條堀川



『緑のトンネル』安本三男  
撮影場所：植物園



『新緑の小道』吉永 弘  
撮影場所：鴨川「花の回廊」



『花も緑もお友達』余田 功  
撮影場所：城陽市久世里ノ西

佳 作



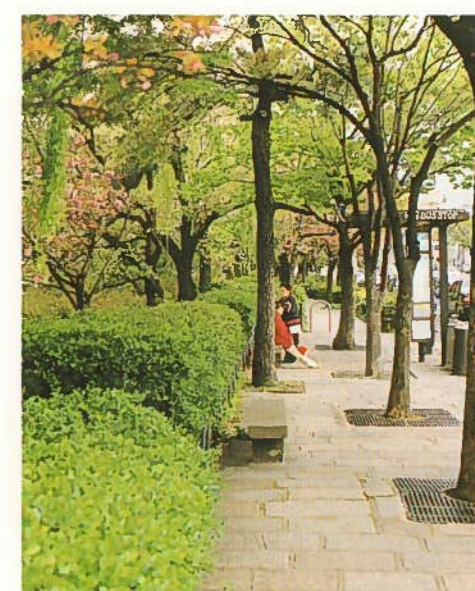
『北山通りの街路樹』小畑光江  
撮影場所：北山大橋東入る



『窓辺の花』小畑 博  
撮影場所：平安神宮大鳥居下ル



『まちなかのオアシス』杉山光弘  
撮影場所：伏見区



『歩道の樹木』三上房子  
撮影場所：二条城前



『(京の中心街)にも緑の木蔭』亀井艶子  
撮影場所：烏丸四条



『緑 陰』戸田米一  
撮影場所：四条橋北東



佳 作



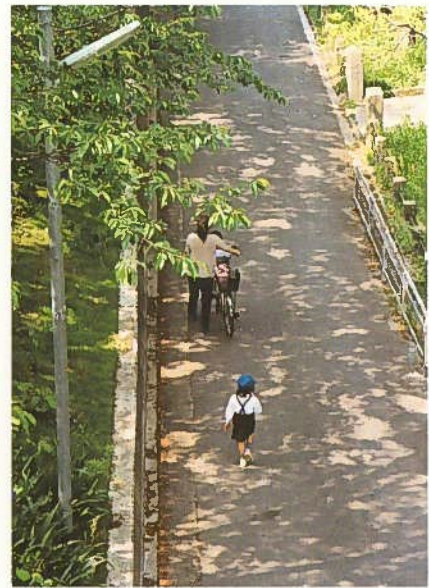
『炎天下の遊歩道』米田嘉三  
撮影場所：鴨川



『子供ひろ場遠望』今西保  
撮影場所：府立丹波自然運動公園



『緑の木漏れ陽』小巻勝  
撮影場所：木屋町二条下



『帰り道』中川茂  
撮影場所：天神川高辻



『休息』中野豊  
撮影場所：梅小路公園



『櫻井さんの玄関』安藤良業  
撮影場所：綾部市大橋

## 第15回京都都市緑化写真コンクール講評

古都保存文化写真協会会長

写真作家 小林文司

街の緑を守り育てて行こうと始まった京都都市緑化写真コンクールも第15回目を迎えました。京都には様々な写真コンテストがありますが、この写真コンクールは多くの方々の共感を得て緑化推進の行事としてしっかりと定着したようです。

この1年、世界ではいろいろなことがありました。各地の紛争やトルコや台湾の大地震などです。日本国内でも風水害が各所で起きています。街は被害を受け、緑も傷ついています。平和で住みやすい世の中をつくるためにも、緑豊かな街を守り育てる努力が益々必要になってきています。

さて、今年作品についての講評を申し述べたいと思います。

京都府知事賞は、マンションの一角で、日常生活の中に緑がとけこんでいる様子をうまくまとめています。構図的にもすぐれており、画面いっぱいにいれた緑と木や人の配置が特に良い作品になっています。

京都市長賞は、今まで少なかった黄昏の緑の美しさを良く表現しています。幅の広い道路の迫力を出しています。照明灯を点々と配置し、造景的にも、静寂とした良いまとまりがあり、都会の黄昏のあか抜けをした作品となっています。

京都府公園公社理事長賞は、子供たちが白川の中で楽しく川そうじをしている様子が良く出ています。画面いっぱいの緑の中に、点々と人物を配置しています。

京都市都市緑化協会理事長賞は、ビルの中の緑として、良い作品です。服の赤をアクセントとして用いた表現が大変よろしい。また、縦横でうまく構成された作品です。

京都府公園造園建設業協会会長賞は、新緑の中に遅咲きの里桜をちりばめていて、画面の中に色の陰影をつけ、遠近感を良く表現しています。

総評としては、今回の応募作品数は338点と、昨年同様300点を上回る応募がありました。作品のレベルも徐々に上がってきている感があり、今年は、その内容も充実して良いものが多いようです。

今度とも、京都の街の緑の美しさや大切さを再認識し、一層緑豊かにしていくために、当コンテストに参加された方を始め、多くの皆さんと一緒に街の緑を守り育てていきたいと思ひます。

都市に緑と公園を